

継目板用ばね座金

Spring Washers for Fish Plates

1. **適用範囲** この規格は、鉄道で一般にレール継目部に用いる継目板用ばね座金（以下、座金という。）について規定する。

引用規格：

JIS E 1101 普通レール

JIS E 1120 熱処理レール

JIS G 3506 硬鋼線材

JIS Z 2245 ロックウェル硬さ試験方法

2. **種類** 座金の種類は、用途によって表 1 のとおりとする。

表 1

種類	用途
1 号	30kg, 37kg, 40kgN 及び 50kgN レール用
2 号	50kg レール用
3 号	60kg レール用

備考 用途欄のレールは、JIS E 1101（普通レール）及び JIS E 1120（熱処理レール）に規定するレールの種類をいう。

3. **硬さ** 座金の硬さは、ロックウェル硬さ $H_{RC}40\sim46$ でなければならない。

4. **ばね作用** 座金は、圧縮試験を行った後、自由高さが表 2 のとおりでなければならない。

表 2

単位 mm	
種類	自由高さ（負荷後）
1 号及び 3 号	14 以上
2 号	17 以上

5. **形状・寸法** 座金の形状・寸法は、付図による。

6. **外観** 座金の表面は滑らかで、使用上有害な割れ、傷、まくれ、脱炭、及びはだ荒れなどの欠陥があってはならない。

また、座金の切口の外側（ナット及び継目板に接する部分）には、著しい返りがあってはならない。

7. **材料** 座金に用いる材料は、原則として **JIS G 3506**（硬鋼線材）の SWRH 62A～82B とする。

8. **製造方法** 座金の製造方法は、次のとおりとする。

- (1) 座金は、線径の約 2 倍の自由高さに成形した後、焼入れ・焼もどしの熱処理を行う。
- (2) 座金は、密着負荷 1 回以上のセッチングを行う。

9. 試験

9.1 **硬さ試験** 座金の硬さ試験は、座金の表面を研削した平面について、**JIS Z 2245**（ロックウェル硬さ試験方法）によって行う。

9.2 **圧縮試験** 座金の圧縮試験は、座金を 3 回全圧縮した後、自由高さを測定する。

10. 検査

10.1 **硬さ検査** 座金の硬さ検査は、9.1 によって行い、3.の規定に適合しなければならない。

10.2 **ばね作用検査** 座金のばね作用検査は、9.2 によって行い、4.の規定に適合しなければならない。

10.3 **形状・寸法検査** 座金の形状・寸法検査は、直接測定、限界ゲージ又はその他適当な方法によって行い、5.の規定に適合しなければならない。

10.4 **外観検査** 座金の外観検査は、目視によって行い、6.の規定に適合しなければならない。

11. **包装** 座金は、検査終了後適当なさび止め油に浸してさび止め処理を行い、包装する。

12. **製品の呼び方** 座金の呼び方は、規格番号又は規格名称、及び種類による。

例：JIS E 1115 1 号

又は継目板用ばね座金 1 号

13. 表示

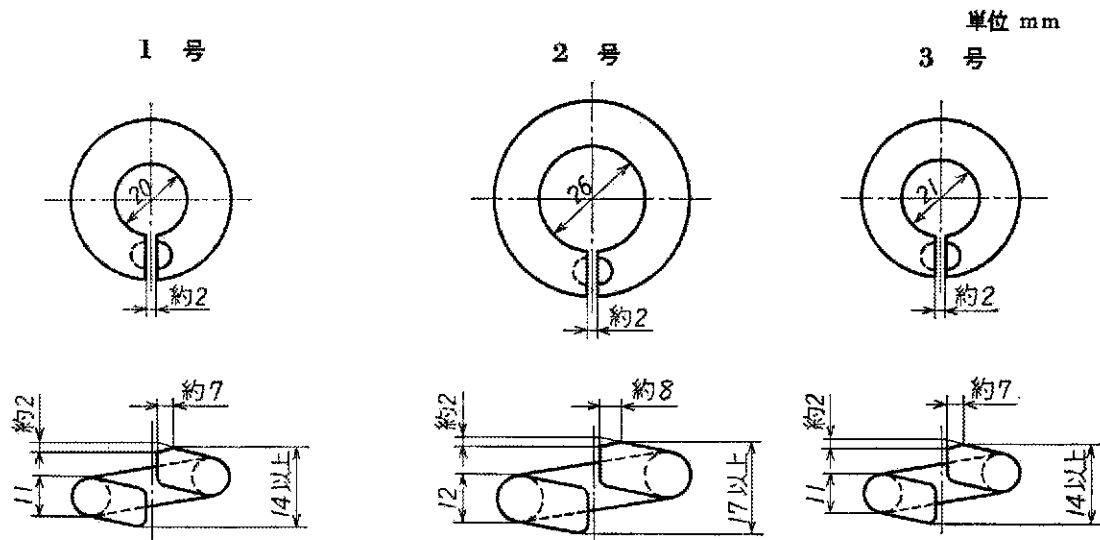
13.1 **製品の表示** 座金には、継目板及びナットに接しない適当な箇所に、次の事項を表示する。

- (1) 製造業者名又はその略号
- (2) “M”の文字（3 号だけ）

13.2 **包装の表示** 包装には、適当な箇所に、次の事項を表示する。

- (1) 規格名称
- (2) 種類
- (3) 内容数量
- (4) 製造業者名

付図 形状・寸法



項目	寸法許容差
内径	+1.0
	0
線径	±0.50

鉄道部会 レール附属品専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 橋 寛	社団法人日本鉄道施設協会
	鈴 木 直 道	通商産業省機械情報産業局
	新 藤 卓 治	運輸省鉄道監督局
	原 慧	運輸省鉄道監督局
	若曾根 和 之	工業技術院標準部
	黒河内 浩	東海大学工学部
	八 木 慶 治	帝国製紙株式会社
	土 屋 正 夫	瀧上精機工業株式会社製造部
	石 野 則 明	大和工業株式会社東京支店
	松 浦 博	株式会社松浦スプリング製作所
	杉 山 嘉 俊	株式会社後関製作所石岡工場
	浅 田 道 正	株式会社光川鉄工所技術開発室
	柿 澤 實	日本国有鉄道技術開発室
	望 月 迪 男	日本国有鉄道施設局
	加 藤 八州夫	日本国有鉄道鉄道技術研究所
	鈴 木 孝 久	京浜急行電鉄株式会社鉄道事業本部
	永 友 義 敏	小田急電鉄株式会社工務部
	綾 部 光 義	東武鉄道株式会社鉄道事業局
	藤 原 隆 郎	帝都高速度交通営団工務部
	和 気 行 雄	社団法人日本民営鉄道協会
(事務局)	石 井 清 次	工業技術院標準部機械規格課
	江 口 信 彦	工業技術院標準部機械規格課